

第2回 晴海中学校新校舎建設準備協議会 議事概要

●開催概要

開催日時 令和8年7月6日（月） 18:00～19:15
場 所 晴海中学校 5階プレイルーム
出席者 委員数 34名／出席 23名・欠席 11名
（出席者内訳）学校関係者 3名、町会等関係者 11名、区職員 9名
傍聴者 2名

●配布資料

1. 第2回晴海中学校新校舎建設準備協議会次第
2. 晴海中学校新校舎建設準備協議会委員一覧
3. 晴海中学校新校舎建設準備協議会 資料1～4 参考資料①－1～③－2

●協議会の経過等

1. 設計業務委託プロポーザル選定結果について
資料に基づき企画部施設整備課長が説明
2. 整備条件、建設コンセプトについて
資料に基づき教育委員会事務局学校施設課長が説明
3. 校舎の形状と配置について
資料に基づき企画部施設整備課長が説明
4. 今後のスケジュールについて
資料に基づき教育委員会事務局学校施設課長が説明
5. 建設についての意見交換・質疑

●協議会での主な要望、意見

《一足制の導入について》

【発言者】	【発言内容】
委 員	現在、晴海中学校は二足制であり、下駄箱の状況で生徒の出欠を確認している。一足制を導入し、外履きのまま教室へ移動する運用になると、担任が教室に行くまで出欠が分からず、管理上の負担や安全確認の遅れが懸念される。職員室の近くなど、出欠確認が容易な場所に下駄箱を設置することを検討してほしい。
→事務局	一足制の導入は、主に校舎内のスペース確保（教室面積の優先）や、空いたスペースを整列場所等に有効活用できる利点があるため採用している。一足制を採用している他校（晴海西小、久松小）での運用状況を確認し、管理上の課題をどう解決できるか検討していく。

《校舎の形状と配置計画（4案の比較評価）について》

【発言者】	【発言内容】
委員	・4案の中では、校舎が緩衝材となり校庭の騒音を遮ることができる「2案」を支持する。近隣マンションに対する騒音等への配慮が不可欠である。 ・提示された4案の比較項目が「学校側の視点」に偏っており、コンセプトである「地域との共生」の視点が欠けている。地域の視点（騒音等）を含めた比較項目で校舎配置を検討することが重要であり、それを踏まえた新たな「5案目」の提示を検討すべきではないか。 ・子供たちが部活動（野球等）を継続できるよう、十分な広さのグラウンドを確保できる案を希望する。 ・新校舎は地域防災の拠点となるため、災害時に地域住民が利用しやすい校舎配置になっているかという視点も重要である。
→事務局	・比較項目が内向きであった点は反省点として受け止める。高層階への音の響き方や風の抜け方など、技術的な観点も含め、地域からの視点を加味して再度整理・検討を行う。 ・提示した4案以外にも、建築的な工夫や地域への配慮を取り入れた案が検討可能か、設計者とも協議を進める。 ・防災拠点の機能面については、担当部署と協議し設計に反映させていく。

《建物階数と断面配置について》

【発言者】	【発言内容】
委員	校庭をより広く確保するために、階数を上げて建築面積を抑えるという考え方があってもよいのではないかと。教室間の移動の負担は、配置の工夫で解消できるのではないかと。
→事務局	中学校の運用としては6階建てでも支障はない（現校舎も6階建て）。ただし、月島第一小学校が仮校舎として利用する計画があるため、小学校時の移動負担については配慮が必要である。階数を上げる案も含め、校庭面積とのバランスを考慮し検討する。

《通学路の安全確保について》

【発言者】	【発言内容】
委員	晴海通りを渡る歩道橋が老朽化しており、幅も狭く危険である。子供たちが安全に登下校できるよう、東京都と積極的に協議し、車椅子もすれ違えるような広い歩道橋への架け替えや信号機の設置などを強く求める。
→事務局	通学路の安全確保は重要な課題と認識している。ハード面（歩道橋の改善等）については関係各署とも連携し、ソフト面（見守り等）とあわせて検討を進める。

《施設、設備について》

【発言者】	【発言内容】
委 員	整備条件に屋上校庭とあるが、屋上に運動場があると地上校庭以上に騒音が懸念される。屋上運動場の整備は決定事項か。
→事務局	屋上運動場の整備はしない方向で検討する。
委 員	今後の教育環境に合わせ、Wi-Fi 環境やタブレット端末の充電設備を十分に備えた設計としてほしい。
→事務局	ICT 環境については設計の参考とする。

《開催スケジュールについて》

【発言者】	【発言内容】
委 員	配置計画は住民にとって極めて重要な議題であるため、性急に決定することはせず、議論の場（第3回協議会等）をしっかりと設けてほしい。
→事務局	スケジュールについては、十分な意見交換ができるよう開催回数や時期を再検討する。

以上